

2026年度 法政大学 転籍・転部・転科・編入学・継続学士入学試験

2年次・3年次 法学部

試験科目 英語 (出題意図)

英語による論説文を正確に読み取り、多義的な語句や概念の理解を通じて内容や主張を把握するとともに、全訳を通して語彙力・文法力および読解力を総合的に評価することを目的とした出題です。

2026年度 法政大学 転籍・転部・転科・編入学・継続学士入学試験

2年次 法学部

試験科目 論文 (出題意図)

出題意図 【I】

社会問題に関する関心と洞察を、小論文の形で表現できるかを意図した。付随的に、ネット記事を鵜呑みにせず、適切な情報を収集するための「知の技法」の習得度も測った。

①：問題文を精査し、細部を疎かにしない読み方ができるかどうか。②：問題文で設問に該当する部分を探し出し、短くまとめ、箇条書きで記述できるかどうか。③：問題文をよく読んだ上で、自分の体験や知見を与えられた時間で整理し、さらに数値・グラフを読み解き、適切な日本語で記述できるかを問う。特に、問題文の指示を正確に守っているか（適切な読解力があるかどうか）も問う。

出題意図 【II】

記憶の問題は、人文科学の諸分野において重要なテーマであるのみならず、政治や法律を勉強しようとする者にとっても重要である。記憶のような基礎的概念について、自らの経験にも立脚しながら筋道を立てて論じる能力を問う。

2026年度 法政大学 転籍・転部・転科・編入学・継続学士入学試験

3年次 法学部

試験科目 論文－政治学 (出題意図)

「地方自治は民主主義の学校」といった、高校教育等を通じて流布されている常識のような命題をうのみにせず、そうした捉え方がまさに論争の対象となった学術的な議論の場を紹介する文章を読んで、政治学的に柔軟に思考し、多面的に考える力を問うている。それぞれの地域、それぞれの時代で、地方自治の実態は多様であり、実態を踏まえない中央政府の不十分な政策に対して地方政府が民意を反映して先進的な政策を実施する、という場合もあれば、頑迷固陋な地方名望家の支配に抗して中央政府の開明的な勢力が民意に即した改革を実行するという構図の場合もある。高校教育などで形成してきた「地方自治は民主主義の学校」という固定観念をいったん括弧に入れて、多面的に考えることができるかどうかを、試す問題である。

2026年度 法政大学 転籍・転部・転科・編入学・継続学士入学試験

3年次 法学部

試験科目 論文－法学 (出題意図)

問1は、日本国憲法によって保障されている精神的自由の1つである表現の自由を規制する立法に関して、裁判所が、これらの立法が憲法に違反するものか否かを具体的に審査する際の判断基準を問う問題であり、表現の自由という精神的自由に対する正しい知識を有しているかを問うものである。

問2は、刑法上の犯罪の構成要件の1つである故意（罪を犯す意思）に関連して、犯罪を構成する事実およびそれが違法であることについてそれぞれ錯誤があった場合における故意の存否を問う問題であり、犯罪の構成要件としての故意を正しく理解しているかを問うものである。

問3は、民法上の権利主体に関する問題を取り上げ、民法上の基礎的な権利主体の概念に関する理解力を測るための問題である。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
哲学科	論文	I	現代社会や現代文明について、あるいは日常のさまざまな事象について、日頃から積極的に知見を得ているか、また、それらについて日頃から自分なりに考えを深め、さらにそれらの課題の改善策を考える習慣があるか、を解答から計ることを意図している。つまり、設問への解答全体からどのような世界観、価値観を元にどれだけ考察し、かつ説得的に説明できるか、その能力を計ることを意図している。
哲学科	論文	II	西洋哲学史の基本用語を理解しているか、またそれらを適切に説明することができるか、を確認する問題である。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
日本文学科	論文	一	日本文学・日本語学の研究に関して、どのような問題意識を持って研究を進めて来たかを確認するとともに、適切な研究方法を選び取る能力があるかどうかを測るための問題である。
日本文学科	論文	二	日本文学研究・日本語学研究に関わる問題について、論理的に考え、適切な形式で述べる能力があるかどうかを測るための問題である。
日本文学科	論文	三	専門分野における基礎的な知識を有しているか、またそれを適切な表現で説明できる能力があるかどうかを測るための問題である。
日本文学科	論文	四	和歌・漢詩を解釈する能力、古典文学を当時の風習等を勘案しながら、文脈を把握し、解釈する能力があるかどうか測るための問題である。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
英文学科	論文	I	英語で論理的に考える能力を測るための問題である。この問題は特に、同一の対象であっても複数の評価がありうることを理解し、混乱せずに考えられる力を測るための問題である。
英文学科	論文	II	英語で論理的に考える能力を測るための問題である。この問題は特に、自分の常識に基づいた決めつけをせず、著者の言い分だけに即して物事を考えられる力を測るための問題である。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
史学科	論文	I A	史学科で日本史を学修するに足る基礎知識、および、重要な歴史用語を正確に記述する能力を確認するための問題である。
史学科	論文	I B	史学科で西洋史・東洋史を学修するに足る基礎知識、および、重要な歴史用語を正確に記述する能力を確認するための問題である。
史学科	論文	II	史学科で専門分野を学修するに足る学力を備え、歴史学にかんする主要なテーマを体系立てて説明できるかを確認するための問題である。
史学科	論文	III	採点対象の問題ではない。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
心理学科	論文	問題1	心理学における研究を理解するのに必要となる研究計画の諸要素（独立変数の設定、測定変数や剰余変数の検討、統計的分析の実施）について適切に立案・説明する能力を体系的に問うための出題である。
心理学科	論文	問題2	心理学の専門用語に関する基礎的な知識を持っていることを確認するための出題である。出題にあたっては心理学検定で公表されている用語から選出するようにし、領域や問題の難易度に過度な偏りが生じないように配慮している。

2026年度 法政大学文学部 編入学試験【出題意図】

学科名	科目名	大問	出題意図
地理学科	論文	I	自然地理学分野における基本的な見方、考え方について、読図並びに景観写真判読、気候学、水文学分野に関する基礎的な知識の確認をするための出題である。
地理学科	論文	II	人文地理学分野における日本の人口問題の基本的な見方、考え方について統計資料の読み込み、人口動態における背景や要因に関する思考力を問うための出題である。

2年次 経営学部

試験科目 人文（出題意図）

社会科目の出題意図

【問題 1 出題の意図】

労働力不足の中で議論の必要性が高まっている移民労働者に関する問題である。賛成する、懸念する意見がある社会的イシューへの関心と評価できる適切な視点を持っているかを問う問題である。対立的な言説が混乱するなか、経済的影響の実態に基づいた議論の重要性を認識している解答の展開が求められる。引用されている文章の読解力に基づいて、根拠づけられた主張がどのようになされるかを理解する必要がある。

【問題 2 出題の意図】

定義にもよるが、観光は誰もが消費者として経験しており、近年増加が目立つ訪日外国人観光客は生活空間の構成員となっている。このような生活の周辺で起こっている観光現象に関連して、社会科学的なアプローチを意識して考えることを問う問題である。他方で、それがもたらす負の影響が、具体的にどのように起こっているかに気づくこと、対策を論理的に展開できる力が試される。

2026年度 法政大学 転部・転籍・転科・編入学 入学試験

2年次 経営学部

試験科目 人文 (出題意図)

問題1では、超高齢社会が生み出す問題、その対策、さらにそれに対する自分の意見について執筆させる。問題2では、「新しい資本主義」を実現しようとする背景、資産所得倍増プランの政策内容や期待される波及効果、そしてそれに対する自分の考えについて執筆させる。

これらを通じて、問題を提起する能力、対策を立案する能力、論理的思考能力、文書作成力を身に付けているかを判断する。

2026 年度 法政大学 転部・転籍・転科・編入学・継続学士_論文（会計）

入学試験

3 年次 経営学部

試験科目 会計分野 （出題意図）

問題 1 は、商品の仕入や固定資産の取得時にかかる費用を、なぜ原価に含めるのかを理解しているかを確認します。利益計算や減価償却との関係を説明できる力を測ります。問題 2 は、財務諸表を使って企業の収益性や成長性を考える基礎力を確認します。利益の種類や比率の意味を理解し、企業を比較できるかを測ります。

2026 年度 法政大学 入学試験

3 年次 経営学部

試験科目 経営分野 (出題意図)

企業の対市場活動であるマーケティング戦略とマーケティング戦術を正確に理解しているかを把握するための問題であり、これらについて適切な文章で論述する能力を有しているかどうかを問うことを意図した出題である。

2026 年度 法政大学 転部・転籍・転科・編入学 入学試験

3年次 経営学部

試験科目 経済 (出題意図)

戦後期から1990年代までの、日本の経済発展の歴史(現代日本経済史)に関する基礎的な知識と、その理解度を確認するための問題です。

2025年度 法政大学 編入学 入学試験

3年次 国際文化学部

試験科目 論文 (出題意図)

異文化的状況の分析と自己の経験の論述を通じ、異文化理解・双方向的コミュニケーション能力、情報共有と対処力および論理的表現力を総合的に評価します。

問1

集合時刻に遅刻した事例を通して、異文化間の行動規範や情報共有の重要性、各関係者の立場に応じた適切な対応力（説明・謝罪・調整・予防策の提案）を測ることを意図した出題です。

問2

自身の体験に基づく異文化間コミュニケーションの誤解・失敗を一つ挙げ、その原因分析と改善策を論理的に説明できるかを問うことを意図した出題です。

2026年度 法政大学 転籍・転部・編入試験

2年次 キャリアデザイン学部

試験科目 論文 (出題意図)

課題文の内容を的確に理解できているかを問うとともに、課題文の内容理解を踏まえて、自分の考えを適切に述べるかを問おうとした出題です。

なお、説明を求める設題では、指摘された字数内で、適切な文章表現で論述することができるか、自分の考えを述べる設題では、そう考える根拠を明示しながら、論理的に論述を展開できているかを問うことも意図しました。

2026 年度 法政大学 社会学部 2 年_転部・転籍・転科・編入学・継続学士_論文 入学試験

2 年次 社会学部社会政策科学科

試験科目 論文（出題意図）

現代の社会問題についての基本的な理解と、それらを解決するために必要な政策的思考力を測るとともに、理解した内容や自らの考えを適切な文章で論述する力を有しているかを問うことを意図とした出題です。

2026 年度 法政大学 社会学部 2 年_転部・転籍・転科・編入学・

継続学士_論文 入学試験

2 年次 社会学部社会学科

試験科目 論文（出題意図）

社会学の基礎的な概念を、社会学史的理解をもとにして、適切な文章で論述する力を有しているかを問うことを意図とした出題です。

2026 年度 法政大学 社会学部 2 年_転部・転籍・転科・編入学・継続学士_論文 入学試験

2 年次 社会学部メディア社会学科

試験科目 論文 (出題意図)

選挙時や災害時における SNS の偽・誤情報をテーマとすることで、社会学部が掲げる「社会課題解決」に関する理解と関心を測るとともに、自らの考えを理論的に説明する力を問うことを意図した出題です。

2026年度 法政大学

現代福祉学部福祉コミュニティ学科転籍・転部・転科・編入学・継続学士

入学試験

2年次 現代福祉学部

試験科目 論文 (出題の意図)

- I 福祉および地域領域に関する基礎的な知識を問うとともに、それを簡潔かつ適切な文章で説明する力を測ることを意図した出題です。

- II 福祉領域および地域領域にかかわる社会的な課題について、基本的な理解を問うとともに、それを適切な文章で論述する力を有しているかを測ることを意図とした出題です。

2026 年度 法政大学

現代福祉学部臨床心理学科転籍・転部・転科・編入学・継続学士

入学試験

2 年次 現代福祉学部

試験科目 論文 (出題の意図)

- I 臨床心理学に関する基礎的な知識を問うことを意図した出題です。

- II 心理専門職に関わる内容の基本的な理解とそれに対する自らの考えを問うとともに、それらの理解や考えを適切な文章で論述する力を有しているかを問うことを意図とした出題です。

出題意図

スポーツイベントのレガシー創出という現代的課題に対し、専門領域（スポーツビジネス、コーチング、ヘルスデザイン）の知識を応用し、論理的な戦略（定義、具体策、成果指標）を体系的に策定する能力を測ることを意図した出題です。